

事業所名

小樽市さくら学園

## 支援プログラム（児童発達支援）

作成日

7年

2月

28日

法人（事業所）理念	一人ひとりが安心して共に生活出来る福祉コミュニティの創造 ～安心と笑顔でつなぐ みんなのしあわせ～				
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての子どもが、一人ひとりいきいきと自分らしい生活ができるように、子どもの発達の可能性を実現させ「生きる力」を育てます。</li> <li>「遊び」や「生活」における「環境設定」を通して、ひとりひとりのお子さんが、それぞれの力を自発的に発揮できる療育に努めます。</li> <li>家庭と学園との連携を密接にし、十分話し合いを深め、理解・協力を得て支援をしていきます。</li> </ul>				
営業時間	8時	30分	17時	00分	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の園生活を通して生活リズムを整えていくことから、安定した気持ちで活動などに参加することができる支援を行います。</li> <li>日常生活に必要な基本的生活の確立を図ることから、身のまわりのことが自分で行えるようになることを目指します。</li> <li>お子さんの食べることへの意識の向上を目指し、使いやすい食具の使用や盛り付けの工夫などを通じたスモールステップを大切に支援を行います。</li> </ul>			
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>運動を通して、健康な身体の育成を図ります</li> <li>粗大運動～体幹がしっかりとすることから良い姿勢を保てるようになり、食事や机上活動などに集中して取り組むことができることを目指します。</li> <li>手指～色々な道具の操作や使用ができるようになることから、楽しみが増えて豊かな生活を送ることができる支援を行います。</li> <li>感覚～遊びを通して色々な物に触れる経験を積み、活動の興味・関心の幅を広げていく。また苦手な感覚については、個別な配慮や環境設定の工夫を行い気持ちの安定を図ります。</li> </ul>			
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>戸外活動を通じた自然観察や季節ごとの楽しい遊び、時計やカレンダーなど身の周りにある日用品から様々な概念理解を深め、それらの知識を生活上で活用し、見通しを持った生活を送ることができるよう支援をします。</li> <li>自分の行動について考える力を育み、失敗をすることが減ることから自己肯定感の向上につなげていく支援を行います。</li> </ul>			
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの子どもの能力と理解力に合わせた機能的なコミュニケーションスキルを教えていくことから、支援者と子どもとのコミュニケーションを良好に図れることで、子どもに何かを伝え、導くことを可能とし、子ども自身には周囲に希望や願いを伝えることができるようになることを支援します。</li> <li>コミュニケーション手段～指差し、ジェスチャー、サイン、絵やひらがなを用いたカードなど</li> <li>読み書きに関心を示すお子さんには、その能力の向上に取り組み、文字によるコミュニケーションの活用</li> </ul>			
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>お子さんの気持ちを受け止める支援を通して、支援者との信頼関係を大切に育み、お子さんの気持ちの安定に努めます。</li> <li>小集団の中で、社会生活に必要なコミュニケーション能力の形成を図ります</li> <li>分かりやすいルールのある楽しい遊びや活動を通して、順番を守ることや貸し借り、交代などについて良い経験を通して学べる支援の提供</li> <li>見立て遊びやごっこ遊びなどから、他者との関係性や役割分担などについての学びの取り組み</li> <li>一人遊びから並行遊びへと段階を踏みながら、他者と関り合って遊ぶ楽しさへ気付けるようはたらきかけていく</li> </ul>			
家族支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>レスパイトや様々な用事、きょうだいとの時間の確保など、円満な家庭生活を送ることができるための延長支援の提供。</li> <li>母子（親子）通園や行事、親の会の活動などで保護者が学園を訪れた際には、支援場面を通して関わり方や子どもさんが変化・成長している点について一緒に確認などをし合う機会を設けている。</li> <li>親の会の活動の一環として、就学に関する市の担当職員からの説明会やリハビリの専門職からの講義、卒園をされた先輩保護者との交流、ペアレントメンターの実施などに取り組んでいる。</li> <li>きょうだいの会～年3回の実施、小学生以上のきょうだいを対象に、支援員との楽しい活動やきょうだい同士の交流の機会として取り組んでいる。</li> </ul>	移行支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>幼稚園との並行通園の奨励や、幼稚園への通園を希望されるご家庭については、見学の日程調整や具体的な移行先との引継ぎなどの支援を行っている。</li> <li>保育園や幼稚園などの利用がないお子さんを中心に、地域の幼稚園との交流保育に取り組みお子さんの経験の幅を広げる取り組みを行っている。保護者に対しては、幼稚園利用に向けてのはたらきかけなどを行っている。</li> </ul>		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>さくら学園を利用されるお子さんが通う保育園や幼稚園などとの連携</li> <li>就学に関しては、市の担当職員による説明会の実施、ご希望時には学校見学のための連絡調整、見学の同行をしている。入学先の学校とは情報提供、引継ぎを行っている。</li> <li>お子さんが通う医療機関でのリハビリの見学や情報などの連携を図る</li> <li>小樽市障がい児・者支援協議会への参加</li> <li>小樽市医療的ケア児及びその家族に対する支援検討会議への参加</li> </ul>	職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人内研修～法人の理念、権利擁護、虐待の禁止と防止、身体拘束の禁止、自閉症研究会、年数別研修などへの参加</li> <li>外部研修～資格取得のための研修、北海道や小樽市が主催する各種研修会などへの参加</li> <li>外部研修の報告会</li> <li>ケース検討会～毎月2回</li> </ul>		
主な行事等	5月～春の親子バス遠足（余市方面） 8月～夏の親子バス遠足（札幌） 9月～運動会 10月～秋の親子バス遠足（円山動物園） 11月～おまつり会 12月～クリスマス会 3月～卒園を祝う会 行事とは別に、日本の伝統を伝える活動として12月～まゆ玉飾り制作 2月～節分（豆まき）の取り組み				